

犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和7年度)

業務タイトル		項目2（事業内容/仕様書内容）	成果報告内容	成果指標	実績	実施内容	進捗状況
			★は月次報告を行う				
(1)プラザの受付及び情報発信	ア	施設利用や備品利用、啓発や周知を目的とした展示の受付対応等	★開館日数、受付勤務実績 ★利用件数、施設の活用実績	開館日数 300日 来館者数 8000人/年	開館日数 310日 交流スペース利用人数 5,686人 ※R6:307日,5151人	受付対応（施設利用・印刷・チラシ・備品利用） 事業関連の申込受付・登録受付 相談に関する受付対応（金曜日のみ、19時まで受付延長）	市民交流センター開館時間内の利用可能に伴い、フリースペースの利用が増加。 利用方法を明確化し、利用ルールを各所に設置して周知を行っている。
	イ	施設内の整理、整頓	—	—	—	随時	—
	ウ	チラシ、パンフレット、関連書籍等の収集、掲示、設置	ウ 施設内における掲示情報等の状況写真	展示スペースの利活用	6回 ※R6：6回	チラシ受付、書籍貸出等の管理 展示スペースの利用受付	（展示スペース利用団体） ・輝虹会スターレインボー犬山支部、イッテイジャパン（株）まなび いぬやま教室、犬山グッドウィルガイド
	エ	施設利用に関する市所管課との連絡調整、日報の作成	—	—	—	随時	—
	オ	利用団体の登録に関する事務	—	—	市民交流センター登録新規 18件 ※R6:8件	市民交流センター登録の随時受付、市民活動団体登録支援	イベント周知等に課題を抱える団体が多く、チラシの設置やポスター掲示のために登録する団体が増加している。
	カ	ホームページやSNSによる情報発信	エ ホームページの主な発信内容	HPアクセス件数 10,000件/年	HPアクセス件数 16,265件 ※R6：14,487件	・公式LINE、Facebook、Twitter、Instagramを随時更新 ・SNSを使用しない人向けのメール配信も実施	公式LINE登録者数：408名 ※R6：260名 X(旧Twitter)フォロワー：267名 ※R6：272名 Facebookフォロワー：509名 ※R6：471名 Instagramフォロワー：（プラザ）790名 ※R6：630名 （つなフェス）566名 ※R6：467名
	キ	紙媒体の機関誌の発行（年4回）	オ 作成した機関誌等成果物	4回/年	4回 ※R6：4回	・A3両面カラー、夏・秋・冬・春号、各1,300部発行【(1)～①】 ・バンク資源・マッチング事例紹介、助成金情報、事業レポート等	プラザ関係団体、市内各施設に配布するほか、町会長会総会などの市協力事業でも配布。
	ク	施設の利用促進に関する取組みの実施	—	来場者アンケート実施	回答43件、約85%が満足と回答 ※R6：48件、約80%	1年に1回、2週間程度の期間を設けてアンケートを実施。 （アンケート項目）地区、年齢、来館時間、利用頻度、利用目的、スタッフの対応 等	（アンケートのご意見（一部）） ・町内会についての相談丁寧に開いていただき、活動のヒントをいただけて実際に行動に移せたのは協働プラザのおかげです。
(2)相談・助言業務	ア	団体の設立・事業企画・事務処理・組織運営、協働事業の企画、マッチング、評価などの相談窓口	ア 相談対応を行った件数、内訳等、全体の結果 イ ★相談カルテ	相談件数 80件/年	相談件数 104件 ※R6：128件	予約相談【(2)～①】 固定の相談日は設けず、予約受付して実施中 事前に受付する際の相談受付シートを作成して調整	市民活動に関する相談に加え、地域団体（町会長など）の相談も増加している。また、施設利用者が相談する事例も増えている。
	イ	地域活動、事業者の社会貢献活動を念頭に置いた周知、接遇、時間帯など、相談しやすい環境づくり	—	つながりよろず相談会 40人/年	つながりよろず相談会開催回数 10回 参加人数 52人 ※R6：5回、6人	令和6年度はテーマを設定していなかったが、令和7年度は活用できるツールをテーマにして開催。 後半5回は各地のふれあいセンターで開催。【(2)～②】	昨年度は自由に相談できる場としてテーマを設定せず行ったが、参加が少なかったため、R7はテーマを設定して実施。 後半5回は地域に出向いたことで、参加者も増加し、協働プラザの認知度も高まっている。
	ウ	専門家への協力依頼、プロボノの活用など、ニーズに対応できる体制の構築	—	—	事前相談件数 3件 ※R6：11件	市民活動助成金の相談受付を実施	相談にて、地域や市民に還元される事業になっているか、無理のない事業計画などを確認し、団体のステップに合わせたアドバイスをを行った。令和7年度については、希望団体のみの相談としたため、相談件数は減少している。

(1)～① 機関誌



(2)～① 相談・連携案件の事例

○町会長からの相談

町内会みらいミーティングに出席された町会長さんから町内に農地が多く、移住者が少ないため、何か子どもたちに農業に関心を持ってもらえるような体験の機会を作りたいと相談があり、地域資源バンクに登録のあるロスフラワーを活用してワークショップを行うコミュニティナースの紹介をした。

○行政への支援

犬山市の情報政策課から市民を対象としたDXについてのワークショップを行うため、展開していくアイデアが欲しいと相談があった。対象を絞りこんでから企画していくと目的が明確になる、対面のみではなく、オンライン開催の検討、周知について提案した。R6年度には観光課へロングラン花火のチラシのデザイナーと繋ぎ、R7年度もチラシデザインを行うなど継続的なかわりができている。

○資金に関する相談支援

市民活動助成金に応募するにあたり、市民活動団体が活動の軸を言語化したいとの相談があり、具体的な活動案のブラッシュアップや協力体制についてヒアリングした。

資金に関する相談は、事業のテーマに応じた助成金情報の収集を行っている。

(2)～② つながりよろず相談会 開催内容

○地域との関わりについて

令和7年度から地域のふれあいセンターへ出向き、相談会を開催した。前年に比べ約8倍の参加があった。これは地域に出向き開催したことで、距離が物理的に近くなった方、ふれあいセンターを知る地域の方、その地区のコミュニティ推進協議会の方の参加者が増加したためである。実際につながりよろず相談会に参加されたコミュニティ推進協議会の方はこの場で学んだツールを活用し、現在コミュニティの広報活動を積極的に行っている。



(1)～② いぬやまみらいテーブル実施テーマ

- ・コミュニティナースと町会長の未来座談会
- ・はたらく女子の会
- ・その活動もっと届けよう。インスタの活動サポートします。
- ・絵が苦手でもOK 思いをカタチにするマイ・ロゴマーク
- ・あなたの活動が伝わる一枚にインスタ投稿入門
- ・Instagram見てもらえる、つながる工夫
- ・遊んで学んでこどもの権利 なんでやねんすごろく
- ・年末掃除おしゃべり会
- ・犬山に住んでいる外国人とのコミュニケーションどうしてる？



犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和7年度)

業務タイトル		項目2（事業内容/仕様書内容）	成果報告内容 ★は月次報告を行う	成果指標	実績	実施内容	進捗状況
(3)地域資源バンク シェアエコによる活用	ア	人材情報の収集 3年間で50件	ア ★年間で作成した地域資源情報の登録票及び一覧表	情報収集（人材） 20件	情報収集（人材） 29件 ※R6：24件	新規登録を随時受けつつ、WEBサイトを運用中 既存の地域資源バンク登録者の情報を更新し、WEBサイトの構成内容の見直しも実施 アウトリーチ活動に合わせて、地域資源の発掘も進めている	地域で活用できるスペースや、ワークショップ、イベントの講師など、多様な資源が集まってきている。 （登録例） ・科学おもちゃづくり教室 ・「五感で楽しみながら身体と心を健康に」ワークショップ ・シオン犬山会館 ・脳トレで体も頭もスッキリ教室 等
	イ	空間、活躍の機会、資機材 3年間で30件		情報収集（資機材等） 10件	情報収集(資機材等) 8件 ※R6：9件		
	ウ	収集した情報は整理し、一覧表等にまとめる		—	—	随時	—
	エ	HP、SNS等での情報発信、新着情報の更新、活用事例の広報、登録・活用のPR	イ 地域資源バンクホームページの主な発信内容	—	—	プラザの情報発信事業と連携して実施 LINEの1対1トーク機能を活用して、事例紹介や資源の問合せなど、登録者をサポート	市民からHPを通して地域資源やイベント開催、登録してほしい地域資源等の情報を収集する仕組みも設け、地域資源の発掘を進めている。
	オ	マッチングを3年間で100件 地域課題の解決に向け当事者へのヒアリング、団体の会合に出席して情報交換、能動的に情報活用を仕掛けて実績をあげる	ウ ★主なマッチング案件の内容を記載した調書及びマッチング実績の一覧表	マッチング件数 35件	マッチング件数 30件 ※R6：43件	相談内容に応じて、合致しそうな資源をピックアップし、仲介に入る等の対応を行う。 マッチング後、必要に応じて伴走支援を行う。 【(3)-①】	(マッチング事例) 御幸町内会からお祭りに使う竹を探しており、尾関作十郎陶房にお繋ぎし、尾関さんと一緒に竹を切りだしから行い、無事にお祭りを開催した。
	カ	「いぬやまでばん」の運営	エ 「いぬやまでばん」の運用に関する調書	—	—	㊦WEBサイトの更新、メンテナンス	シェアエコサイトとして必要機能の部分改修・機能追加を行い、より利用者が使いやすいサイトとした。（案件のランキング表示、相互評価機能の追加、管理者の表示変更等）
				登録案件 50件	登録案件 25件 ※R6：17件	㊧案件の登録があった場合、内容を確認し、承認を行う（随時実施）	活動者が個人で持てるインターネットページツールとして紹介しており、周知方法の一つとしての活用を目指している。
						㊨説明会や講習会の開催、事例発信、普及及び利用の促進【(3)-②】	—

(3)-①（地域資源バンク）マッチング事例

▼尾関作十郎陶房×御幸町町内会

犬山地区御幸町の町会長より、8月の夏まつりで使用する笹竹の調達が町内では難しいため、協力してもらえる方を紹介してほしいと相談があり、いくつか紹介した中から、敷地内に竹林があり、地理的にも運搬しやすいと「尾関作十郎陶房」とつながった。
御幸町の方々と尾関さんと協力し、笹竹を切り、運搬を行った。笹竹は神社入り口に飾られ、無事に夏まつりは開催され、多くの人々が交流する様子が見られた。

▼竹のwa INUYAMA×みんなのアーカイブ

竹のwa INUYAMAの中山さんが尾関邦彦陶芸教室の尾関さんから聞いた犬山焼のお話を記録に残したいと相談があり、みんなのアーカイブの楠本さんを紹介した。
楠本さんも以前より尾関さんの話を聞きたいとつぶやいていたこともあり、快諾された。
その後みんなのアーカイブが寄稿している「ももっぴ通信」のコラムで紹介できるよう準備を進めることとなった。



◀犬西奈の桜会×NPO法人にこっと

犬西奈の桜会より、地域の親子を対象としたクリスマス会で、みんなでたこ焼きを作りたいが一度にたくさん焼くにはプレートの数が足りない為貸していただける方を紹介してほしいと相談があり、地域資源バンクに「たこ焼きプレート」の登録のあるNPO法人にこっとを紹介した。
当日は、多くの親子が訪れ、焼き立てのたこ焼きや、わたがしなどを囲みながら笑顔が溢れる空間となりました。



(3)-②（いぬやまでばん）高校協働実績

▶犬山総合高校地域探求学習

地域探求学習のテーマの1つにシェアリングエコノミーがあり、グループに分かれてシェアエコサービスを考え、4グループがいぬやまでばんへの登録を行い、今年度で6回利用者とマッチングした。
授業内で協働プラザといぬやまでばんを紹介することで、高校生への事業周知の機会となった。

（いぬやまでばんに登録したシェアエコサービス）
・スポーツ体験！バスケ・バレー・卓球
・わんちゃん・ねこちゃんのお世話します！（散歩・餌やり・掃除など）
・小学生と一緒に楽しい実験や体験をしよう！
・家事で困ったら、僕たち高校生がサポートします。

いぬやまでばん案件紹介！
わんちゃん・ねこちゃんのお世話します！
(散歩・餌やり・掃除など)



わんちゃん・ねこちゃんのお世話します！(散歩・餌やり・掃…

犬と猫のお世話代行サービスです！私たちは、犬山総合二年生です。地域探求という…

掲載期間：2025/10/31～2026/01/16



犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和7年度)

業務タイトル		項目2（事業内容/仕様書内容）	成果報告内容 ★は月次報告を行う	成果指標	実績	実施内容	進捗状況
(4)フューチャーセッション@犬山の実施	ア	犬山に対する思いのこもった問いを引き出す各対話テーマの検討	ア 広報媒体の成果物 ウ 参加者名簿	開催回数 5回/年 参加者数 累計 100人/年 新規 5人/月	開催回数 5回/年 ※R6：5回 参加者数 累計 97人 新規 48人 ※R6累計：81人 新規：32人 実行委員 6人 ※R6：13人	【(4)-①、②】 「創造的な語り場」として、犬山を舞台に何かやってみたいメンバーが自由に語り合い、対話から新しい価値を生み出すをテーマに、異分野の人材が出会いと対話により、自ら行動に移していく場づくりを実施。 R7年度もR6年度から引き続き、2回1組とし、1回目でゲストスピーカーから話を聞いてアイデア出し、2回目は1回目で出たアイデアを深掘りしてアクションプランを作成。アクションプランを実行に移すため、伴走支援も行っている。 令和5年度に引き続き、企画運営は、まちづくりに対して当事者意識を持ってもらうため、実行委員形式とし、参加者を運営に巻き込みながら実施している。 また、地域団体の積極的な参加も得るため、年齢制限を設けずに実施した。	2回1組とすることで、アイデアがより具体的になり、アクションプランの実現に向け、話を進めるグループが多くあった。 また、連続開催とすることで、各回で対話を重ね、参加者同士のつながりや、お互いの活動を知るきっかけともなった。 (テーマ（参加人数）) ①こども目線のまちづくりって？ ①ゲストトーク＆セッション（29人） ②セッション＆アクションプランを考えよう（17人） ②5年後のまちの未来会議をしよう ③ゲストトーク＆セッション（16人） ④セッション＆アクションプランを考えよう（17人） ⑤「こども目線のまちづくりって？」-アクションプランのブラッシュアップ-（18人）
	イ	議論の幅を広げるための事例やゲストスピーカーの選定、手配					
	ウ	年間プログラム（年間5回程度）の企画、広報媒体の作成、印刷、WEBでの発信					
	エ	会場設営、参加者受付、当日の進行					
	オ	参加者間の関係性の構築、ファシリテーションの指導					
	カ	持ち込まれる問いの社会的価値への誘導					
	キ	協調した行動につなげるための対話の誘発		—	—	いぬやまみらいテーブルへの誘導	各回で出されたアクションプランを、実践に向けて話す場として、みらいテーブルを案内した。
	ク	ニュースレターの発行	イ ★各回の実施実績レポート	5回/年	5回/年	当日の対話をまとめたニュースレターを発行 前回の振り返りとして活用し、HPにも掲載を行った。	—
	ケ	生じた活動、事業のサポート	エ 場づくりによって生じた活動、事業に関する調査	—	3回	セッションで生まれたアクションプランの続きを話し合う場として、いぬやまみらいテーブルを活用し、実践に向けたはじめての一步を促した。	3つのアクションプランがいぬやまみらいテーブルのテーマとなり、実施に向けた対話を行った。その後も実施に向けた動きが進んでいる。 【(4)-③】 (テーマ) ・まなびーの裏庭で・・・！！ ・みんなまんなかおかしのおしろ
	コ	成果発信及び表彰		—	—	最終回で、各アクションプランに対して、実行委員が考えた賞を贈り、成果の表彰を行った。【(4)-①第5回を参照】	—

(4)-① 実施内容・結果

第1.2回「こども目線のまちづくりって」

①ゲストトーク（一般社団法人Everybeing 共同代表 西崎 萌 氏）＆セッション 参加者：29名

②セッション＆アクションプランを考えよう 参加者：17名

「こどもまんなか」ってんだろう？～知っておきたい子どもの権利～というテーマでお話をいただき、身近な子どもたちの声や様子を思い出しながら、付箋に書き出し、グループセッションを行った。



第3.4回「5年後のまちの未来会議をしよう」

①ゲストトーク（犬山市役所 企画広報課 古田 隆行 氏）＆セッション 参加者：16名

②セッション＆アクションプランを考えよう 参加者：17名

「数字でみる“いま”と、総合戦略から考える“これから”」というテーマのお話を聞き、「いいね！犬山総合戦略2025-2030ワークブック」を使用し、セッションを行った。「暮らしたいまち」、「活躍したいまち」、「訪れたいまち」という視点を行き来しながら5年後の犬山について考える場となった。



第5回「まとめ＆表彰」

参加したい人が楽しくその一員になれる、関わりしろのあるアクションプランへ

1～4回で生まれた7つのアクションプランから4つ選び、そのアイデアに具体的なアイデアや工夫を盛り込み、発表・共有。

市長から各プランへの講評と賞を贈った。

(表彰内容)

・まちかどでキュンキュンするで賞

「まなびーの裏庭で・・・！」

・いぬやまスイッチ押しま賞

「みんなまんなかおかしのおしろ」

・ほっとワンダフルで賞

「子供のために、行政さん聞いてください（犬山Love）」

・まちひとつなぐで賞

「犬山おたのしみバス」



(4)-③ 実施後の動き

まなびーの裏庭で・・・！

焚き火でマシュマロや焼き芋を焼き、最後に「優しい防災の話」をする夜のイベント企画です。ちょっと危険に感じる焚き火という体験を通じて、子ども達同士が仲間づくりをしたり、仲良くなる気あっけになる場を作り出します。

アクションプランを立てた中心メンバーが声をかけ、協働プラザの「みらいテーブル」を活用し、具体的にどのようなスケジュールで動くのか、どんな防災のお話しをするのかなど実施に向け動いている。



犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和7年度)

業務タイトル		項目2（事業内容/仕様書内容）	成果報告内容 ★は月次報告を行う	成果指標	実績	実施内容	進捗状況
(5)地域活動の担い手育成事業	ア	コミュニティナースの概念やその手法等を学習する講座を開催するとともに、受講者同士のつながり作りを行い、委託期間内で20人以上の担い手を育成する	ア ★担い手育成講座の実施結果 ウ 状況写真	地域における社会課題の解決に向けた取り組み 1件/年 コミュニティナースの育成 10人/年	地域における社会課題の解決に向けた取り組み 開催回数 3回 ※R6：3回 コミュニティナースの育成 15人 （市外在住：1人） ※R6：17人（市外2人）	・コミュニティナース・ベーシック講座【(5)-①】 「毎日の嬉しいや楽しい」を地域住民とともにつくり、「心と身体の健康と安心」を実現する「コミュニティナース活動」の概念を基に、暮らしの身近な存在として、地域に必要な機能をつくっていく人材を育成するため、「コミュニティナースベーシック講座」を実施。 【テーマ】 ①第1項 関係をきずく、第2項 つぶやきを拾う ②第3項 まずはやってみる、第4項 みんなで物語をつくる ③第5項 健康のイメージを広くもつ、出発式	1～3期合わせて47人のコミュニティナースが出発し、市内各地で活動を行っている。【(5)-④】
	イ	育成した担い手が各地域で活躍できるように支援を行うとともに、活動状況について把握を行う			特別講座 開催回数 1回 参加者 16人	・「特別講座」地域の特性や協働プラザの役割を知って、活用しよう【(5)-②】 ベーシック講座受講生を対象に、犬山にある町内会の数やコミュニティ推進協議会について説明し、それぞれの枠組みで活動している地域の方について説明した。	講座の後半では、「今できる」ことをやってみよう！とし、拾ったつぶやきから、どんな健康おせっかいができるのかをワーク形式で行った。自分ができるおせっかいを言語化したことで、「見える化」し、コミュニティナース達の活動の幅が広がった。
			イ 育成した担い手の活動、及びその結果に関する調書 ウ 状況写真		活動報告 104件 ※R6：71件	・コミュニティナース支援、アウトリーチ【(5)-③、④】 各コミュニティナースが行った活動をLINEグループで共有し、進捗確認と伴走支援を行った。また、コミュニティナース主催のイベントへのアウトリーチも行った。	（活動事例） ・二胡を用いた音楽療法 ・つなフェスで知り合った方にいただいた反物でバックづくり ・柔道整復師の方と肩首膝腰痛の改善体操
(6)自主事業及び人材育成	ウ	オ いぬやま地域つながるフェス&講演会の開催	ア ★事業の結果概要及び成果物 イ 状況写真		いぬやま地域つながるフェス&講演会 開催回数 1回 参加人数 320人 プログラム参加者 （午前）21名 （午後）41名+立ち見 実行委員 17人	・いぬやま地域つながるフェス&講演会【(6)-①】 犬山市内で市民活動や地域活動を行う個人や団体・事業者や、協働プラザ事業に参加した市民が、これからの犬山で活動を継続し、さらに発展・継承していくために参加者が自身の活動や今後の展開へ活かす視点を得ることを目的とした事業。 ・プログラム（午前）「体験！地域おせっかい会議」 コミュニティナースベーシック講座の講師である西田先生をお招きし、してほしいこと、できることをリアルタイムでマッチングする場 ・プログラム（午後）「講演会（こどももおとなも住み続けたいくなる・すんでいて元気になるまちって？～こどももまんなかのまちづくり～）」 NPO法人フリースペースたまりば理事長の西野さんをお招きし、たまりばができるまでのお話しをしていただき、その後市長との公開対談を行った。 ・出店・展示スペース 出店ブース数：40（無料体験・活動紹介17、物販・有料ワークショップ5、こども若者チャレンジ3、コミナス企画3、飲食4、地元事業者8）	4年ぶりに開催されたいぬやま地域つながるフェスは初のリアル開催となり参加人数が300人を超えるなど大盛況に終わった。地域おせっかい会議では多くのコミュニティナースや市民が集い、おせっかいのリアルマッチングが行われるなど、活動者同士の交流の幅も広がるようになった。講演会では40人+立ち見で会議室に収まりきれないほどの集客があった。参加者、出店者に対して行ったアンケートでは、満足度が93.9%、次年度の参加希望も71.4%を超えるなど、集客だけではなく満足度についても高い結果となった。ただ、掲示や案内不足による回遊性の低下等の課題が出たため、次年度以降改善していく。
(7)その他の業務	ア	ア 市が実施する事業に関して必要に応じ協力する	ア 市に対する協力実績 イ ★「協働プラザミーティング」実施記録			・市民活動助成金についての相談、個別サポート ・附属機関会議への出席等 ・町内会の「みらい」ミーティングの実施協力 ・町会長会連合会への出席 ・千種区の視察対応	



(5)-③ 総合高校との協働実績

犬山総合高校地域探求

地域探求学習のテーマの1つにコミュニティナースがあり、5つのグループに分かれてアクションプランを考え、実施した。

アクションプラン検討に向けたアドバイスや、プランを実施できる場の検討・高校とのマッチングを行い、生徒が活動できる場の提供、実施当日の支援等を行った。（作成したアクションプラン（内容））

- ・コミュ英5G（スマートフォンの普及により家族との会話が減っているため、家庭内の会話のきっかけづくりを目的とした取り組み）
- ・ Grill団（世代間の壁を越え、多世代や障がいのある人との交流の場を創出する取り組み）
- ・ チームコンバース（運動で健康な身体づくりを促進する取り組み）

